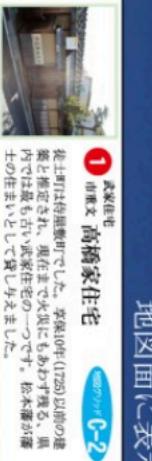
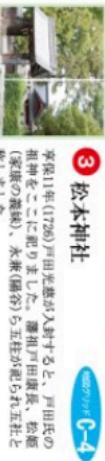


地図面に表示の《ミニ解説》

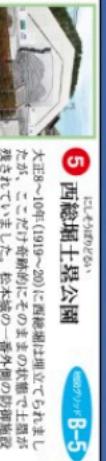
**① 武家屋敷
市浦文 高橋家住宅**
享保11年(1726)河田光基が入社すると、戸田氏の祖神をここに祀りました。享和元年(1765)以前の建物と推定され、現在でも火災にもあわず残る、県内では最も古い武家屋敷の一つです。松本藩の武士の住まいとして貸し出されました。



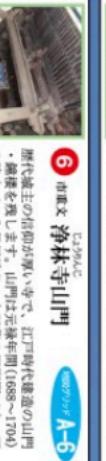
**② 岡宮神社
市浦文**
寛文3年(1663)水野忠興の命で造営され、市内の神社建築の中では規模が大きい。膳代城主の時成親王と、越後守の名前で祀られています。市浦文の神輿は水野忠道の寄進。



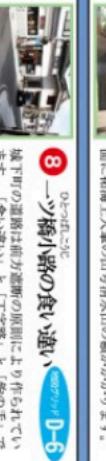
**③ 松本神社
市浦文**
享保11年(1726)河田光基が入社すると、戸田氏の祖神をここに祀りました。享和元年(1765)以前の建物と推定され、現在でも火災にもあわず残る、県内では最も古い武家屋敷の一つです。松本藩の武士の住まいとして貸し出されました。



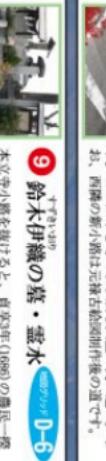
**④ 国宝 松本城天守
市浦文**
国宝に指定されている松本城天守は、複数、丸小天守、大天守、隅櫓附の5棟で構成されています。天守閣の下見櫓張りの外観は武骨で威厳たっぷりな感じで、天正時代の象徴です。豪華な装飾が城主の時の天守閣で、現在は天守と一体となっている。



**⑤ 西総堀土蔵公園
市浦文**
大正9~10年(1920~21)に西堀跡は埋立てられましたが、「こじり堀」と「堀の塹」のままで残されています。これは今もそのまま残る奥壁の「食い違い」ですね。西堀の堀の塹は元禄占掘削作後の遺です。



**⑥ 市浦文 淳林寺山門
市浦文**
歴代城主の初が建立し、江戸時代建造の山門。開闢を記念して、「食い違い」と「角の塹」、「脚の塹」で構成されています。山門は元禄9年間(1696~1704)の建立で、人馬通路、木曾川の橋頭、本丸裏の山口沿木立の風。伊豫墨は「城下町清水郡」の一つ。



**⑦ 四柱神社御幸橋
市浦文**
四柱神社は明治3年(1870)創建です。その年の6月に明治天皇御幸時に合わせて御幸したのが神社正殿入り口の御幸橋。この橋は、隣にあった天守門の石垣の石を使って造られています。



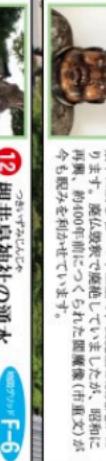
**⑧ 一ツ橋小路の食い違い、
鉢木伊織の墓・雪水**
市浦文

城下町の道路筋が「食い違い」と「脚の塹」で構成されています。「食い違い」と「脚の塹」のままで残されています。西堀の堀の塹は元禄占掘削作後の遺です。

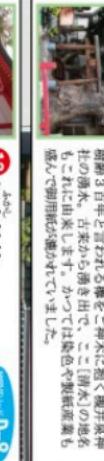


⑨ 鈴木伊織の墓・雪水
市浦文

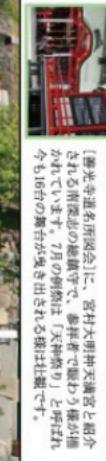
木立の道を抜けすると、脇の農民一揆「加賀暴動」に際して、脇に倒壊後も、大正10年(1920)に再建される。隣に伊織と伝えられる鈴木伊織の墓。後ろが木立寺の風。伊豫墨は「城下町清水郡」の一つ。



**⑩ 県宝 HII念秉寺鐘楼
市浦文**
令和元年(2019)圓山。この鐘楼は宝永2年(1705)の建立。人馬通路、軒裏の全面に雲型の「加賀墨」が施されています。塔頭は再建後も、大正10年(1920)まで「弓削丸」が施設で使用していました。



**⑪ 山家小路の十一王堂
市浦文**
城下に残る唯一の十三王堂で、圓融堂と放光庵が合併して十一王堂で祀られています。境内には、天正元年(1573)の建立。人馬通路、軒裏の全面に雲型の「加賀墨」が施されています。塔頭は再建後も、大正10年(1920)まで「弓削丸」が施設で使用していました。



**⑫ 梶井泉神社の湧水
市浦文**
樹齢3百年と謂われる桟を、古来から湧き出で、ここ「桶井の地名」もこれ由来します。かつては、染色や製紙業も盛んで、切削用薪が需要が出ていました。



歩くと分かる「城下町なるほど発見!」

信州 松本 城下の時代再発見

シリーズ・松本を歩く
松本城下歴史巡り

城下町は、城郭を中心として計画的に建設された軍事・経済都市です。川や堀が更され防衛の機能を果たし、道路も丁字路、食い違い、鉤の手など複雑に構成されています。そして歩きの中で、そこかしこに城下町の名残を発見していくのです。

松本鋼光コンベンション協会

TEL 0874-松本市大手3-8-13 松本市役所大手事務所C
FAX 0263-34-3226 URL http://www.konbo-kc.or.jp

銀行/信州・松本銀行・三井住友銀行・みずほ銀行

四季を通じ、北アルプスを借景とした今も変わらぬ情景です。
この地を訪れた江戸時代の狂歌師・鹿津部真頃は、

江戸時代末期の旧町名

城下を歩くと、町のあちこちの店舗がひびいています。橋柱を辿りながらお酒も美味しいものです。

地蔵清水…清水が湧き出し、お地蔵さんを囲まれたので、地蔵尊が水を飲む姿が見えたので、

美馬湯…湯の湯に並んである、湯の湯が併せてある表と裏があるので、

片桐町……松原の堤壙の内側に町をつくったので、

大名町……高で上級の役の者が住んでいたので、

土井坂……坂の坂の木が折れる結果の坂だったので、

火薬坂……5個の馬を牽く坂があったため、

火薬町……坂下の元火薬の町である。

中町……本町と通町の間にある町。

中町通り……坂の東にある町。

伊勢町……伊勢神明神社があることにちなんで、

宮村町……宮村大明神があったため、

小笠町……小さなかつねつたためともいわれていたが生んでいたため、

小笠原町……小笠原姓が富田から松本へ移ったとき、農田から

来た人々を意味させた。

